

平成 31 年度

千葉県公立高等学校入学者選抜  
学 力 検 査 の 結 果

千葉県教育委員会

# 目 次

I	概 要	2
1	はじめに	
2	実施日、教科	
3	調査の対象	
4	学力検査問題の特徴	
5	結果の概要	
II	【前期選抜】教科別の結果	
1	国 語	4
2	社 会	6
3	数 学	8
4	理 科	10
5	英 語	12
III	【前期選抜】受検者の得点分布	14
IV	【後期選抜】教科別の結果	
1	国 語	16
2	社 会	18
3	数 学	20
4	理 科	22
5	英 語	24
V	【後期選抜】受検者の得点分布	26

# I 概 要

## 1 はじめに

平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、前期選抜及び後期選抜において学力検査を実施した。その結果をもとに作成した「学力検査の結果」を、本県中学校及び高等学校において教科指導力向上のための資料の一つとして活用願いたい。

## 2 実施日、教科

前期選抜の学力検査は、平成31年2月12日（火）に、国語・社会・数学・理科・英語の5教科、各50分、各100点満点で実施した。

後期選抜の学力検査は、平成31年2月28日（木）に、国語・社会・数学・理科・英語の5教科、各40分、各100点満点で実施した。

## 3 調査の対象

本結果は、平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜の前期選抜及び後期選抜の学力検査で、全日制の課程（特別入学者選抜、地域連携アクティブスクール4校を除く）を受検した者（前期選抜では36,674名、後期選抜では15,242名）の結果についてまとめたものである。

なお、正答率・無答率については、各教科とも全日制の課程の全受検者のうちから抽出した答案（全体の約10%）によって算出した。

## 4 学力検査問題の特徴

学力検査問題の作成に当たっては、各教科とも中学校学習指導要領に基づき、総合的な力をみることができるよう配慮した。

平成31年度の学力検査問題の特徴は、次の2点である。

- 基礎的・基本的な事項の正確な理解度をみることができるよう、複数の解答について全て正しい場合にのみ正解とする問題や、理由を書かせる問題を設定した。
- 学習した基礎的知識を応用して答えを導く問題や思考力、判断力、表現力を総合的にみることができるような問題を設定した。

上記2点を柱に、「自ら学び、思考し、表現する力」をみる問題を充実させた。

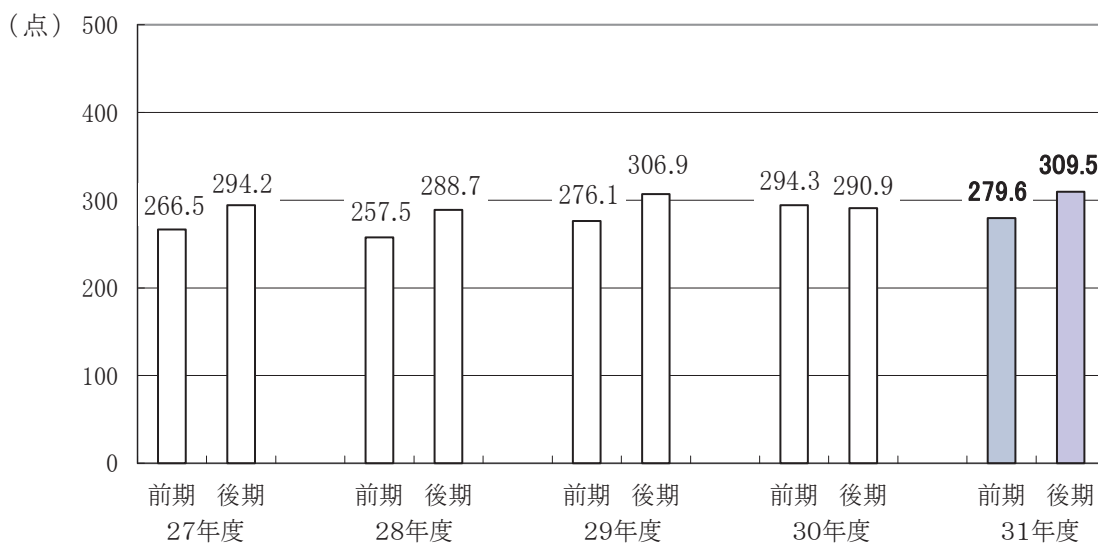
## 5 結果の概要

【表】各教科及び5教科の平均点

( )内は標準偏差

		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	5 教 科
平成 31 年度	前期	54.2 (15.4)	56.6 (20.9)	54.5 (18.7)	60.6 (20.8)	53.6 (24.5)	279.6 (93.2)
	後期	59.2 (15.1)	65.8 (22.0)	61.0 (19.1)	61.6 (19.3)	61.9 (23.7)	309.5 (88.8)
平成 30 年度	前期	63.2 (19.1)	52.9 (18.9)	58.5 (20.3)	60.0 (19.7)	59.7 (23.6)	294.3 (91.1)
	後期	55.7 (16.9)	56.0 (19.9)	62.0 (19.8)	67.5 (21.2)	49.7 (21.7)	290.9 (87.1)

【図】5教科の平均点の経年変化



前期・後期選抜の各教科及び5教科の平均点は、【表】に示したとおりである。

また、5教科の平均点の経年変化を【図】に示した。平成31年度の前期選抜及び後期選抜の5教科の平均点を見ると、前期選抜は前年度より14.7点低くなり、後期選抜は前年度よりも18.6点高くなった。

なお、受検者の得点分布については、前期選抜は14、15ページ、後期選抜は26、27ページに示した。

## II 【前期選抜】教科別の結果

### 1 国 語（前 期）

#### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、3領域（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」）の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようにした。
- エ 与えられた材料について、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようにした。

#### (2) 正答率の概況

抽出答案数=3,770

領 域（事 項） ・ 内 容		問 題・配 点	正答率（%）
話すこと・聞くこと	放送による聞き取り	一 10点	83.1※
書 く こ と	作文	八 12点	31.9※
読 む こ と	説明的な文章	五 20点	49.7※
	文学的な文章	六 20点	64.9※
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	伝統的な言語文化に 関する事項（古典）	七 12点	41.6
	言葉の特徴やきまり に関する事項	四 8点	52.3
	漢字に関する 事項	読み	二 8点
書き		三 10点	47.2

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

#### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は54.2点で、前年度と比べて9.0点低くなった。

領域（事項）・内容別の正答率は、話すこと・聞くことの「放送による聞き取り」が83.1%と最も高く、次いで、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「漢字に関する事項（読み）」が82.5%であった。逆に、書くことの「作文」が31.9%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問二「漢字（読み）」の(1)「弾（む）」、同じく(2)「湧（く）」、(3)「駆除」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問五の(5)「文章の内容の理解と表現（35字以内）」、大問七の(3)II「和歌の内容の理解と表現（7字以内）」及び大問八「資料をふまえての二段落構成の作文」であった。

無答率が高かったのは、大問七の(3)III「文章の内容の理解と表現（7字以内）」、同じく(3)II「和歌の内容の理解と表現（7字以内）」及び大問三「漢字（書き）」の(3)「沿革」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)							
			選択	短答	記述									
一	(1)	4点 ①のみ正答 ②のみ正答 無答	放送による聞き取り 中学校の学習発表会 に向けての話し合い	内容の理解	○			61.0						
								20.2						
								11.2						
									0.6					
	(2)	カードの活用方法	○		81.3	0.1								
(3)	異なる視点を示した発言の効果	○		92.5	0									
(4)	話し合いの流れを受けた次回の展望	○		81.9	0.3									
二	(1)	漢字 (読み)	弾(む)[はず]		○		99.3	0.1						
	(2)		湧(く)[わ]		○		99.0	0.2						
	(3)		駆除[くじょ]		○		94.2	0.5						
	(4)		踏襲[とうしゅう]		○		37.4	10.0						
三	(1)	漢字 (書き)	編(んで)		○		71.8	12.3						
	(2)		退(いて)		○		58.0	25.5						
	(3)		沿革		○		11.9	44.4						
	(4)		支障		○		56.1	26.0						
	(5)		起死回生		○		38.4	35.6						
四	(1)	言葉の特徴やきまりに 関する事項 (学校新聞の原稿の 下書き)	二つの文節の関係	○			29.0	0.7						
	(2)		敬語(尊敬語)		○		44.3	3.8						
	(3)		漢文 返り点		○		58.5	3.5						
	(4)		行書における点画の省略	○			77.3	0.3						
五	(1)	4点 1～3点 無答	説明的な文章 『NHKカルチャーラジオ 文学の世界 詩と出会う 詩と生きる』	文章の内容の理解	○			62.8	0.3					
								35.7	0.3					
	(2)			文章の内容の理解(8字)		○		68.8	14.0					
	(3)			文章の内容の理解	○			50.9	0.8					
	(4)			文章の内容の理解(11字)		○		52.7	30.4					
	(5)			文章の内容の理解と表現(35字以内)			○			5.3				
										13.3				
(6)	文章の内容の理解	○			65.1	1.9								
六	(1)	文学的な文章 『菊のきせ綿 江戸 菓子舗 照月堂』	登場人物の心情の理解	○			82.8	0.8						
	(2)		登場人物の心情の理解	○			78.0	1.3						
	(3)		登場人物の心情の理解	○			57.7	1.7						
	(4)		文章の内容の理解と表現(5字)		○		85.5	5.0						
	(5)		文章の内容の理解	○					82.8	3.7				
									35.7	32.4				
	(6)		文章の内容の理解と表現 (10字以上、20字以内)			○			23.9					
									16.1					
							28.0							
七	(1)	古典 『無名抄』	歴史的仮名遣い		○		88.6	3.4						
	(2)		文章の内容の理解	○			49.4	4.4						
	(3)		文章の内容の理解(2字)		○				49.0	18.6				
									和歌の内容の理解と表現(7字以内)		○		7.3	52.8
									文章の内容の理解と表現(7字以内)		○		13.6	55.1
八	12点	条件作文 学級通信の見出し 「巨人の肩の上に立つ」 という言葉について	資料をふまえての二段落構成の作文 (200字以内) ・前段部分はこのたとえが言い表すことについて ・後段部分はこのたとえを今後の生活にどう生か したいかについて			○		10.7						
	8～11点							15.8						
	4～7点							15.6						
	1～3点							9.1						
	無答								10.1					

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

## 2 社 会 (前 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになるとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができるようにした。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにした。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=3,770

分 野 ・ 内 容		問 題・配 点	正 答 率 (%)	
総 合	総 合 問 題	<b>1</b> 12点	64.6	
地 理 的 分 野	日 本 地 理	<b>2</b> 15点	59.6	58.7※
	世 界 地 理	<b>3</b> 16点	57.7※	
歴 史 的 分 野	前 近 代 史	<b>4</b> 16点	44.0※	47.7※
	近 ・ 現 代 史	<b>5</b> 15点	51.5	
公 民 的 分 野	国民生活と経済・社会	<b>6</b> 10点	62.4	61.8※
	日本の政治制度	<b>7</b> 10点	61.4※	
	国際社会	<b>8</b> 6点	61.2	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は56.6点で、前年度と比べて3.7点高くなった。

分野・内容別の正答率は、総合問題が64.6%で最も高く、次いで公民的分野の「国民生活と経済・社会」が62.4%と高かった。逆に、歴史的分野の「前近代史」が44.0%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問**1**の**(3)**「日本の食料自給率」、大問**2**の**(4)②**「地形図の方位や距離等の読み取り」及び大問**7**の**(1)**「日本国憲法の基本原理」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問**4**の**(2)**「日明貿易（勘合貿易）」、大問**5**の**(5)**「マルタ会談と湾岸戦争」及び大問**4**の**(5)**「大化の改新と同じ世紀の世界のできごと」であった。

無答率が高かったのは、大問**4**の**(2)**「日明貿易（勘合貿易）」、大問**5**の**(3)**「ファシズム」及び大問**3**の**(3)**「フィヨルド」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)		
			選択	短答	記述				
1	(1)	総合問題	縄文時代の日本列島の様子		○		68.6	0.1	
	(2)		内閣			○	68.2	8.2	
	(3)		日本の食料自給率		○		87.7	0.1	
	(4)		ごみ排出量とリサイクル率についての資料の読み取り		○		34.0	0.1	
2	(1)	日本地理	香川県の県庁所在地			○	51.5	10.3	
	(2)		第3次産業の就業者割合		○		48.9	0.1	
	(3)		静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県の工業		○		48.3	0.1	
	(4)		①	地形図からの土地の起伏の読み取り		○		66.5	0
			②	地形図の方位や距離等の読み取り		○		82.6	0.0
3	(1)	世界地理	緯線と経線が直角に交わる地区における赤道の位置と緯線上の2地点間の距離		○		62.3	0.1	
	(2)		ダイヤモンドの生産		○		49.6	0.4	
	(3)		フィヨルド			○	58.4	13.2	
	(4)		中国の農業		○		69.9	0.1	
	(5)		4点	タイ及びマレーシアの輸出品目に関する資料の読み取りと記述				33.3	
			1~3点				○	30.4	
無答							6.1		
4	(1)	前近代史	大宝律令			○	67.1	11.4	
	(2)		4点	日明貿易（勘合貿易）				21.4	
			1~3点				○	23.8	
			無答						16.9
	(3)		大阪の陣（大阪夏の陣）		○		50.5	0.2	
	(4)		江戸幕府の政治改革		○		41.1	0.2	
(5)	大化の改新と同じ世紀の世界のできごと		○		28.1	0.2			
5	(1)	近・現代史	日米修好通商条約と甲午農民戦争の間のこと		○		46.4	0.1	
	(2)		日露戦争における与謝野晶子と東郷平八郎		○		76.9	0.1	
	(3)		ファシズム			○	67.7	16.5	
	(4)		日本人初のノーベル賞受賞者		○		39.4	0.0	
	(5)		マルタ会談と湾岸戦争		○		26.9	0.1	
6	(1)	経済	市場のはたらき		○		52.0	0.2	
	(2)		為替相場（為替レート）			○	54.2	3.4	
	(3)		年金給付等の在り方に関する資料の読み取り		○		81.1	0.5	
7	(1)	政治	日本国憲法の基本原理			○	81.3	2.8	
	(2)		人権思想に関連すること		○		54.5	0.4	
	(3)		4点	裁判員制度のしくみ				33.3	
			1~3点				○	30.4	
8	(1)	国際	BRICS			○	55.5	9.5	
	(2)		南南問題		○		66.9	0.4	

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。



### 3 数 学 (前 期)

#### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 多面的にもものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力をみることができるようにした。
- ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力をみることができるようにした。
- エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力をみることができるようにした。

#### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=3,770

領 域 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点		正 答 率 (%)	
数 と 式	数と式の計算	<b>1</b>	30点	85.5	82.0
	文字式の利用	<b>2の(3)</b>	5点	61.2	
図 形	平面図形	<b>2の(5)、4の(2)</b>	10点	14.6	38.0※
	空間図形	<b>5</b>	15点	31.3※	
	図形の証明	<b>4の(1)</b>	10点	62.6※	
関 数	反 比 例	<b>2の(2)</b>	5点	44.6	50.1
	関 数 $y = ax^2$	<b>3</b>	15点	51.9	
資料の活用	範 囲	<b>2の(1)</b>	5点	76.7	59.2
	確 率	<b>2の(4)</b>	5点	41.6	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

#### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は54.5点で、前年度と比べて4.0点低くなった。

領域別の正答率は、数と式が82.0%と最も高く、図形が38.0%と最も低かった。

また、次の表にあるように、数と式の領域では、大問**1**の(1)「正の数・負の数(除法)」の正答率が97.7%と最も高く、大問**2**の(3)「文字式の利用(連立方程式)」の正答率が61.2%と最も低かった。

図形の領域では、大問**4**の(1)(a)「図形の証明(穴埋め)」の正答率が98.0%と最も高く、大問**4**の(2)「平面図形(三平方の定理・図形の相似の利用)」の正答率が0.2%と最も低かった。

関数の領域では、大問**3**の(1)「関数  $y = ax^2$  (関数の決定)」の正答率が85.5%と最も高く、大問**3**の(2)②「x軸上の点の座標」の正答率が6.7%と最も低かった。

資料の活用の領域では、大問**2**の(1)「資料の散らばりと代表値(範囲)」の正答率が76.7%、大問**2**の(4)「確率」の正答率が41.6%であった。

無答率が高かったのは、大問**5**の(3)「空間図形(円錐・円柱の体積)」、大問**4**の(1)(c)「図形の証明(三角形の相似)」及び大問**3**の(2)②「x軸上の点の座標」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)		
			選択	短答	記述				
1	(1)	数と式	正の数・負の数(除法)			○	97.7	0.1	
	(2)		正の数・負の数(四則計算：累乗を含む)			○	91.0	0.7	
	(3)		文字式の計算(分配法則)			○	87.8	1.7	
	(4)		等式の変形			○	74.0	3.7	
	(5)		平方根(根号を含む式の計算)			○	87.9	2.1	
	(6)		二次方程式(二次方程式の解の公式)			○	74.3	3.4	
2	(1)	資料	資料の散らばりと代表値(範囲)		○		76.7	0.2	
	(2)	関数	反比例(変化の割合)			○	44.6	4.8	
	(3)	数と式	文字式の利用(連立方程式)			○	61.2	8.7	
	(4)	資料	確率			○	41.6	5.9	
	(5)	図形	平面図形(作図)			○	28.9	35.9	
3	(1)	関数	関数 $y = ax^2$ (関数の決定)			○	85.5	3.6	
	(2)		①	点の座標(直線の切片)			○	63.6	12.3
			②	$x$ 軸上の点の座標			○	6.7	39.8
4	(1)	図形	図形の証明(穴埋め)		○		98.0	0.2	
			図形の証明(穴埋め)		○		76.0	0.4	
			6点	図形の証明(三角形の相似)				10.6	/
			3点				○	6.4	
	無答				40.3				
(2)	平面図形(三平方の定理・図形の相似の利用)			○	0.2	35.6			
5	(1)	図形	空間図形(円錐の体積)			○	63.5	4.1	
			空間図形(球の体積)			○	33.0	9.7	
	(2)		4点	空間図形(円柱・半球の体積)				18.7	/
			2点				○	6.0	
			無答					29.7	
	(3)		空間図形(円錐・円柱の体積)			○	6.9	48.8	

## 4 理 科 (前 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能並びに科学的な見方や考え方を身に付けているかを見ることができるようにした。
- ウ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果などを表現する力を見ることができるようにした。
- エ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力を見ることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=3,770

分 野 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点	正 答 率 (%)	
第 1 分 野	物 理	電子	1(1) 3点	88.4
		電流	3 10点	47.9
		力と圧力	6 12点	61.3※
	化 学	ガスバーナーの炎の調整	1(3) 3点	77.3
		酸・アルカリとイオン	4 10点	56.2
		化学変化と物質の質量	7 12点	49.3※
第 2 分 野	生 物	生産者	1(4) 3点	75.8
		植物の体のつくりと働き	5 10点	74.2
		遺伝の規則性と遺伝子	8 12点	64.2
	地 学	深成岩	1(2) 3点	80.7
		天気の変化	2 12点	64.9
		太陽系と恒星	9 10点	50.6

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は60.6点で、前年度と比べて0.6点高くなった。

分野・内容別の正答率は、第2分野・生物の大問5「植物の体のつくりと働き」が74.2%と最も高かった。逆に、第1分野・物理の大問3「電流」が47.9%と最も低かった。なお、大問1は各分野の基礎的・基本的な知識を問う小問集合であり、正答率の平均が80.6%であった。

また、次の表にあるように、正答率が高かった問題は、大問5の(1)「ヨウ素デンプン反応で検出される物質」、大問1の(1)「真空放電において一極から出て+極に向かっていているもの」及び大問7の(1)①「質量保存の法則」であった。逆に、正答率が低かった問題は、大問7の(2)②「ビーカー内に残る炭酸水素ナトリウムの質量」、大問3の(3)(a)「未知の回路図の完成」及び大問3の(3)(b)「未知の抵抗器の特定」であった。

無答率が高かった問題は、大問3の(3)(a)「未知の回路図の完成」、大問4の(3)(b)「中和によって生じる塩の化学式」及び大問7の(2)②「ビーカー内に残る炭酸水素ナトリウムの質量」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容	問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)			
		選択	短答	記述					
1	(1)	真空放電において一極から出て+極に向かっているもの	○			88.4	0.1		
	(2)	深成岩		○		80.7	4.3		
	(3)	ガスバーナーの炎の調整	○			77.3	0.3		
	(4)	生産者		○		75.8	4.1		
2	(1)	飽和水蒸気量		○		81.5	4.2		
	(2)	雲の発生	○			65.0	0.1		
	(3)	気圧の変化に対応する地表からの高さ	○			75.0	0.1		
	(4)	空気の膨張による温度低下によって発生する雲	○			37.9	0.2		
3	(1)	抵抗器 a の抵抗値		○		75.9	4.2		
	(2)	直列回路と並列回路における電流の大きさの関係	○			78.4	0.9		
	(3)	(a) 未知の回路図の完成 (b) 未知の抵抗器の特定			○	16.2	28.9		
4	(1)	酸と金属の反応	○			57.7	0.3		
	(2)	ビーカー内の液の性質	○			79.2	0.4		
	(3)	(a)	水素イオンと水酸化物イオンと水		○		36.5	5.0	
		(b)	中和によって生じる塩の化学式		○		51.2	12.1	
5	(1)	ヨウ素デンプン反応で検出される物質	○			98.1	0		
	(2)	光のあたるところと光のあたらないところの気体の出入り	○			72.3	0.1		
	(3)	蒸散		○		85.6	2.6		
	(4)	実験 2 を行った理由	○			40.6	0.5		
6	(1)	(a)	フックの法則		○		75.6	1.5	
		(b)	グラフの解釈とおもりの個数の特定		○		68.5	2.2	
	(2)	(a)	おもり A にはたらく水圧	○			70.9	0.4	
		(b)	4点	ばねののびが変わらなかった理由		○		29.3	/
1~3点			1.4						
無答	9.2								
7	(1)	①	質量保存の法則		○		87.4	3.5	
		②	化学変化の前後で、その反応に関する物質全体の質量が変化しない理由	○			68.6	1.2	
	(2)	①	4点	炭酸水素ナトリウムの質量と発生した気体の質量との関係		○		22.3	/
			1~3点						
無答			9.8						
②	ビーカー内に残る炭酸水素ナトリウムの質量		○		12.5	11.7			
8	(1)	対立形質		○		49.0	6.0		
	(2)	①	記号を用いた遺伝子の表し方	○			63.2	0.8	
		②	減数分裂のしくみ			○	60.5	6.9	
		③	孫の株における遺伝子の組み合わせの比	○			84.0	1.1	
9	(1)	地球型惑星		○		63.7	5.5		
	(2)	金星が見える時間帯と方位	○			57.8	2.1		
	(3)	金星の見かけの形	○			43.5	2.1		
	(4)	金星と地球の公転	○			37.3	3.3		

※ 無答率の「0. 0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

## 5 英 語 (前 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能を、全領域にわたり身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などをみることができるようにした。また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力をみることができるようにした。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握する力、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力をみることができるようにした。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力とともに、条件作文の中で、英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力をみることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=3,770

領 域 ・ 内 容		問題・配点	正答率 (%)	
聞くこと (話すこと)	リスニングテスト (対話を聞いて答える)	1 9点	74.1	55.4
	リスニングテスト (絵を見て答える)	2 6点	52.8	
	リスニングテスト (対話やまとまりのある文章を聞いて答える)	3 6点	48.3	
	リスニングテスト (文章を聞いてその内容を表す文の空欄に英単語を答える)	4 12点	46.3	
読むこと (話すこと)	短い文章の読解	7 20点	58.7※	55.0※
	長い文章の読解	8 12点	42.0	
	対話文の流れの理解	9 12点	62.5	
書くこと (話すこと)	文法及び文構造	5 15点	47.2	47.8※
	英語による自己表現 (絵を見て状況を把握し、対話を完成する)	6 8点	51.2※	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は53.6点で、前年度と比べて6.1点低くなった。

領域・内容別の正答率は、聞くこと(話すこと)の「リスニングテスト(対話を聞いて答える)」が74.1%と最も高かった。逆に、読むこと(話すこと)の「長い文章の読解」が42.0%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問1のNo.1「対話の最後の発話に対する応答を選ぶ」、大問7の(1)④「文脈に合わせて英語を選ぶ」及び大問9の(2)「文脈に合わせて英語を選ぶ」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問8の(1)「内容と合うよう英語を補充する」、大問6「英語による自己表現(絵を見て状況を把握し、対話を完成する)」及び大問7の(2)①「英語の質問に英語で答える」であった。

無答率が高かったのは、大問4のNo.2の②「文章を聞いてその内容を表す文の空欄に health のつづりを完成する」、大問4のNo.1の②「文章を聞いてその内容を表す文の空欄に river のつづりを完成する」及び大問7の(2)①「英語の質問に英語で答える」であった。

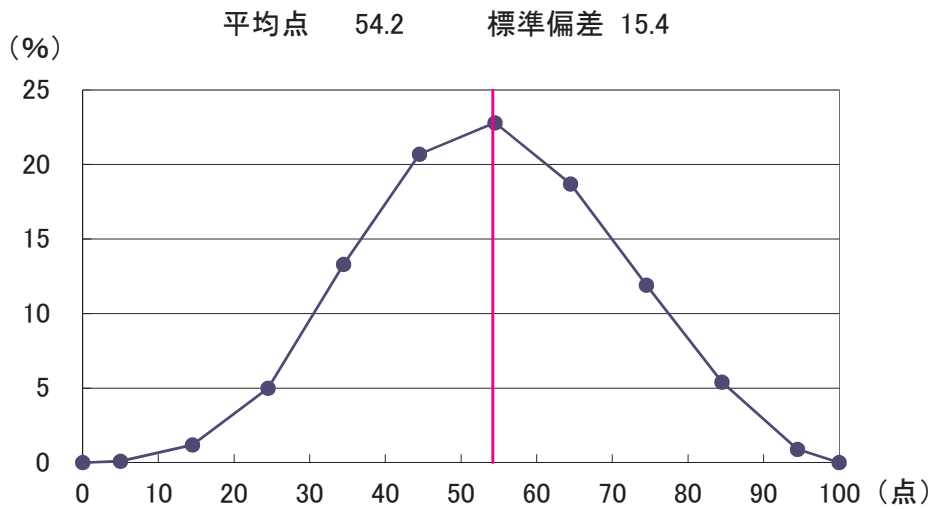
問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選択	短答	記述			
1	No. 1	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			93.2	0	
	No. 2	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			53.7	0.1	
	No. 3	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			75.4	0.1	
2	No. 1	対話を聞いて絵の中の記号を選ぶ	○			54.5	0.0	
	No. 2	文章を聞いてグラフを選ぶ	○			51.0	0.1	
3	No. 1	対話を聞いて英語を選ぶ	○			48.8	0.2	
	No. 2	文章を聞いて英語を選ぶ	○			47.7	0.2	
4	No. 1	①		○		64.8	12.6	
		②		○		36.7	31.5	
	No. 2	①		○		62.6	14.3	
		②		○		21.2	41.7	
5	(1)	動詞 practice を動名詞 practicing にする		○		44.9	4.9	
	(2)	名詞 music を名詞 musician にする		○		36.5	6.7	
	(3)	語順整序 ( Her idea is not as good as mine. )	○			57.8	0.1	
	(4)	語順整序 ( What color is between red and yellow? )	○			47.5	0.1	
	(5)	語順整序 ( What do you want me to do? )	○			49.1	0.1	
6	8点	自己表現 英語による自己表現 (絵を見て状況を把握し、対話を完成する) (解答例) Sure, but I must study English hard, too. Can I ask you questions about English while we are studying together?			○	18.3		
	5~7点					34.9		
	1~4点					21.6		
	無答						10.8	
7	(1)	①	文脈に合わせて英語を選ぶ	○		80.4	0.1	
		②	文脈に合わせて英語を選ぶ	○		61.4	0.2	
	(2)	5点	英語の質問に英語で答える			○	21.0	
		3~4点					15.1	
		1~2点					4.4	
		無答						20.8
	②	英文の題名を選ぶ	○			62.5	0.3	
(3)	①	英語の質問に英語で答える	○			62.1	0.3	
	②	内容と合う英語を選ぶ	○			53.0	0.8	
8	(1)	長文読解 内容と合うよう英語を補充する		○		16.9	14.9	
	(2)	内容と合うよう英語を補充する		○		71.3	8.6	
	(3)	内容と合う絵を選ぶ	○			36.6	1.2	
	(4)	内容と合う英語を選ぶ	○			43.3	2.6	
9	(1)	対話文読解 文脈に合わせて英語を選ぶ	○			73.8	0.5	
	(2)	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			76.0	0.8	
	(3)	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			49.5	1.0	
	(4)	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			50.6	1.4	

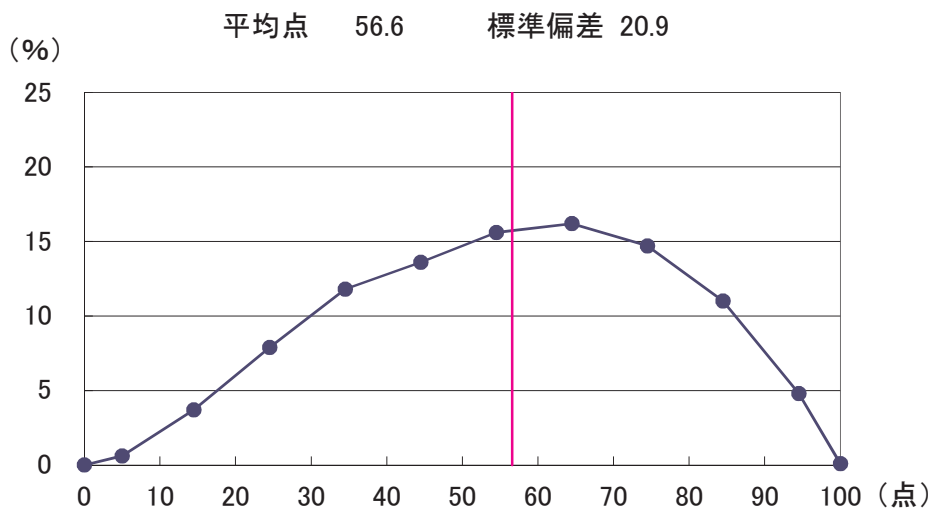
※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

### Ⅲ 【前期選抜】受検者の得点分布

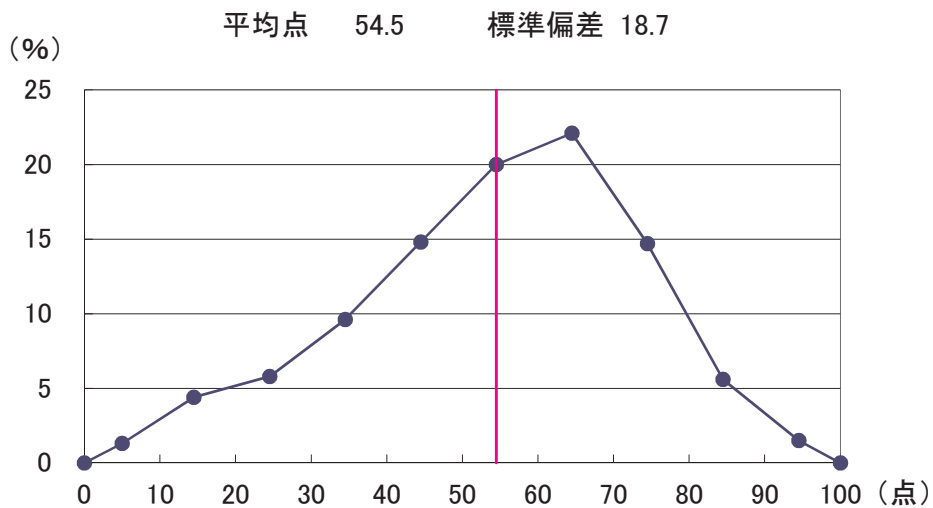
#### 1 国 語



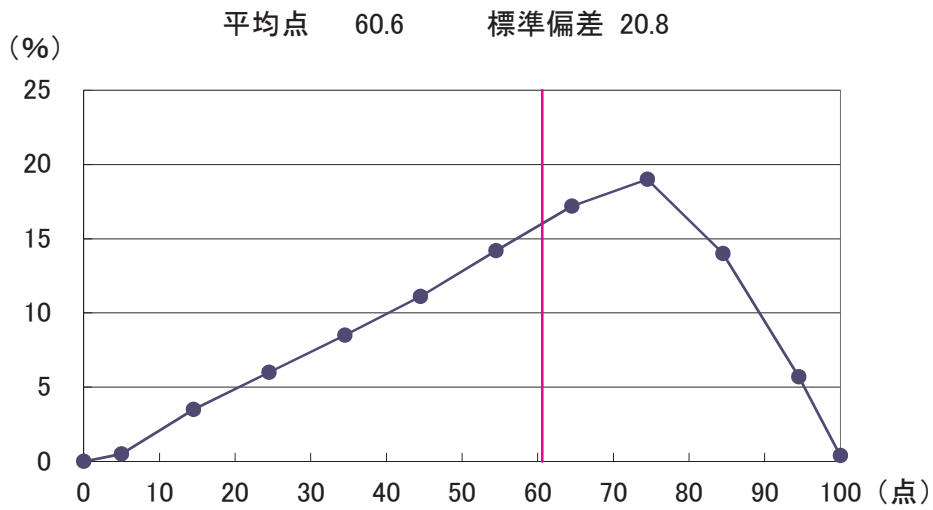
#### 2 社 会



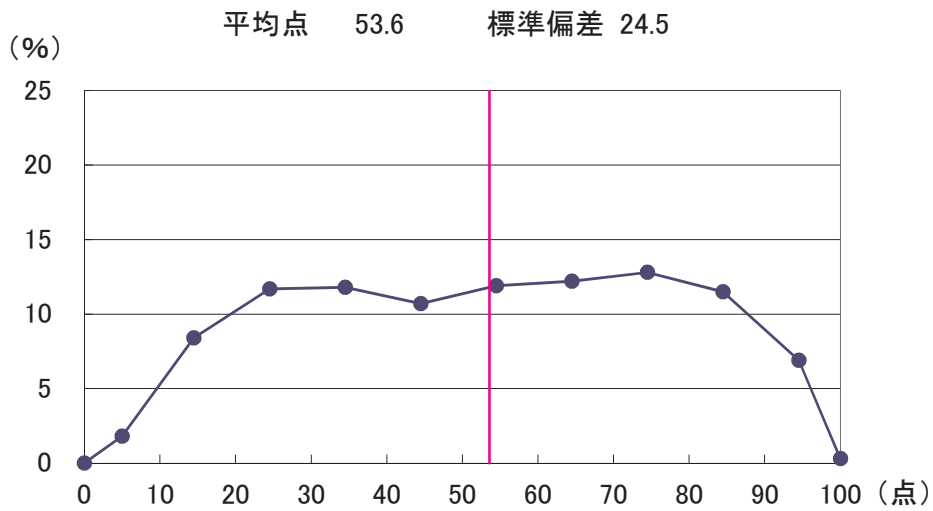
#### 3 数 学



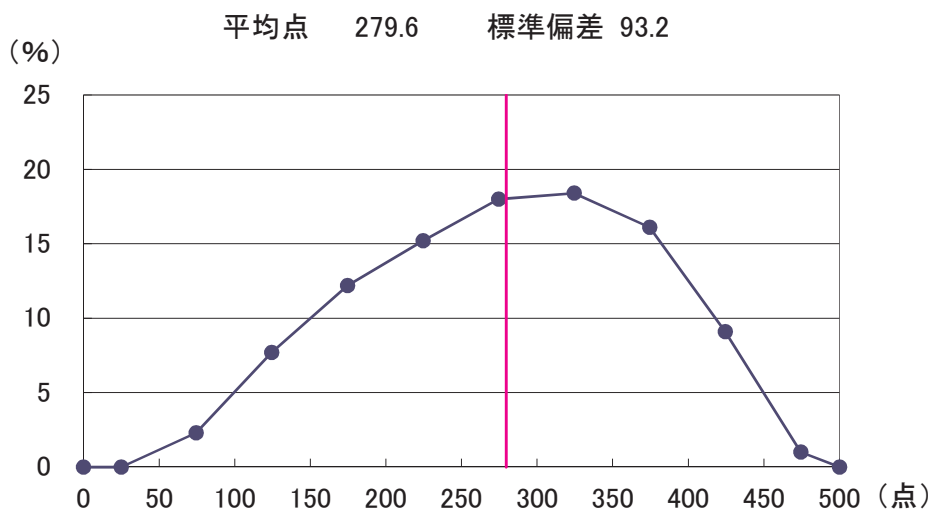
#### 4 理科



#### 5 英語



#### 6 5教科得点合計





## IV 【後期選抜】教科別の結果

### 1 国 語（後 期）

#### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、3領域（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」）の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようにした。
- エ 与えられた材料について、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようにした。

#### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=1,580

領 域（事 項） ・ 内 容		問 題・配 点	正 答 率（％）
話すこと・聞くこと	放送による聞き取り	一 12点	78.3
書 く こ と	作文	七 10点	24.7※
読 む こ と	説明的な文章	五 (3) (4) (5) (6) (7) 20点	51.1※
	文学的な文章	四 24点	68.8※
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	伝統的な言語文化に 関する事項（古典）	六 12点	46.7
	言葉の特徴やきまり に関する事項	五 (1) (2) 4点	60.0
	漢字に関する 事項	読み	二 8点
書き		三 10点	62.6

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

#### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は59.2点で、前年度と比べて3.5点高くなった。

領域（事項）・内容別の正答率は、話すこと・聞くことの「放送による聞き取り」が78.3%と最も高く、次いで伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「漢字に関する事項（読み）」が76.9%であった。逆に、書くことの「作文」が24.7%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問二「漢字（読み）」の(1)「就（く）」、大問一の(2)「発言の意図」及び大問三「漢字（書き）」の(2)「厚み」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問六の(4)Ⅲ「文章の内容の理解と表現（8字以内）」、大問七「条件をふまえて書く段落構成の作文」及び大問六の(4)Ⅰ「文章の内容の理解（8字）」であった。

無答率が高かったのは、大問六の(4)Ⅲ「文章の内容の理解と表現（8字以内）」、大問五の(6)Ⅱ「文章の内容の理解と表現（15字以上、25字以内）」及び大問六の(4)Ⅰ「文章の内容の理解（8字）」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容	問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)		
		選択	短答	記述				
一	(1)	放送による聞き取り 総合的な学習の時間 における話し合い	発言の評価	○		83.0	0.1	
	(2)		発言の意図	○		91.9	0	
	(3)		話し合いの焦点	○		79.4	0.1	
	(4)		取材の不足点	○		58.7	0.2	
二	(1)	漢字 (読み)	就(く)[つ]		○	96.2	0.9	
	(2)		遡(る)[さかのぼ]		○	78.2	4.9	
	(3)		万端[ばんたん]		○	73.0	0.9	
	(4)		粉骨砕身[ふんこつさいしん]		○	60.0	6.3	
三	(1)	漢字 (書き)	謝(る)		○	81.5	5.9	
	(2)		厚(み)		○	89.3	2.8	
	(3)		操縦		○	55.1	6.7	
	(4)		鉄筋		○	35.3	10.7	
	(5)		親孝行		○	52.0	7.1	
四	(1)	文学的な文章 『洛中洛外画狂伝 狩野永徳』	登場人物の心情の理解	○		88.9	0.1	
	(2)		登場人物の心情の理解	○		84.7	0.1	
	(3)		文章の内容の理解(5字)		○	83.1	2.7	
	(4)		登場人物の心情の理解	○		77.8	0.4	
	(5)		文章の内容の理解	○		70.4	0.6	
	(6)		I	文章の内容の理解(14字)		○	59.6	22.4
			II	4点	文章の内容の理解と表現(15字以内)	○	14.1	
1~3点		6.6						
無答			35.9					
五	(1)	説明的な文章 (言葉の特徴やきまりに 関する事項) 『子どもと本』	助詞の用法の理解	○		72.4	0.9	
	(2)		言葉の係り受けの理解		○	47.6	8.8	
	(3)		文章の内容の理解	○		60.1	1.0	
	(4)		文章の内容の理解(14字)		○	34.6	20.4	
	(5)		文章の内容の理解	○		65.8	3.2	
	(6)		I	文章の内容の理解	○		67.8	5.1
			II	4点	文章の内容の理解と表現 (15字以上、25字以内)	○	13.5	
				1~3点			16.6	
無答			43.2					
(7)	文章の内容と構造の理解	○		56.2	4.1			
六	(1)	古典 『一休ばなし』	歴史的仮名遣い		○	87.5	3.0	
	(2)		文章の内容の理解	○		48.4	3.5	
	(3)		文章の内容の理解	○		83.3	3.9	
	(4)		I	文章の内容の理解(8字)		○	13.3	40.6
			II	文章の内容の理解(2字)		○	42.8	31.6
			III	文章の内容の理解と表現(8字以内)		○	4.9	58.2
七	10点	条件作文 ことわざ「転石苔を生ぜず」の 「苔が生える」ことについての 自分の考え	条件をふまえて書く一段落構成の作文 (140字以内) ・「転石苔を生ぜず」の二通りの意味をもとに、「苔 が生える」ことについての自分の考えを書く。	○	8.4			
	6~9点				12.6			
	1~5点				22.9			
	無答					11.0		

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

## 2 社 会 (後 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになるとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができるようにした。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにした。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=1,580

分 野 ・ 内 容		問 題・配 点	正 答 率 (%)	
総 合	総 合 問 題	<b>1</b> 10点	70.2	
地 理 的 分 野	日 本 地 理	<b>2</b> 16点	62.9	66.6
	世 界 地 理	<b>3</b> 15点	70.4	
歴 史 的 分 野	前 近 代 史	<b>4</b> 19点	62.3※	62.7※
	近 ・ 現 代 史	<b>5</b> 16点	63.2	
公 民 的 分 野	国民生活と経済・社会	<b>6</b> 12点	73.4	67.4※
	日 本 の 政 治 制 度	<b>7</b> 12点	59.4※	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は65.8点で、前年度と比べて9.8点高くなった。

分野・内容別の正答率は、公民的分野の「国民生活と経済・社会」が73.4%で最も高く、次いで地理的分野の「世界地理」が70.4%と高かった。逆に、公民的分野の「日本の政治制度」が59.4%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問**6**の(3)X「各国の実質経済成長率の推移グラフの読み取り」、大問**5**の(4)「地球温暖化防止への取り組み」及び大問**3**の(1)「中心からの距離と方位が正しい地図の読み取り」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問**5**の(3)「日中戦争から国際連合加盟までのことがら」、大問**2**の(2)「北海道の稲作」及び大問**7**の(3)「住民投票」であった。

無答率が高かったのは、大問**4**の(3)「徳政令」、大問**7**の(3)「住民投票」及び大問**5**の(2)「民本主義」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選択	短答	記述			
1	(1)	総合問題	さつまいも栽培の盛んな四つの県における石油・石炭製品出荷額等、ブロイラー（肉用若鶏）、茶及び野菜の産出額に関する県の特定	○		64.6	0.1	
	(2)		享保の飢饉以降の日本のできごと	○		68.2	0.1	
	(3)		再生可能エネルギー		○	77.8	3.0	
2	(1)	日本地理	接している府県の数が多い県		○	59.7	2.7	
	(2)		北海道の稲作	○	○	38.5	2.2	
	(3)		北陸の冬の降水量が多くなる理由	○		79.3	0.1	
	(4)		新旧の地形図の読み取り	○		73.9	0.3	
3	(1)	世界地理	中心からの距離と方位が正しい地図の読み取り	○		86.6	0.3	
	(2)		サンベルト		○	76.1	10.9	
	(3)		オーストラリア	○		65.0	0.3	
	(4)		地図と地球儀の対照	○		53.9	0.1	
4	(1)	前近代史	古代文明	○		79.1	0.1	
	(2)		奈良時代のことがら	○		46.3	0.2	
	(3)		徳政令		○	68.9	13.0	
	(4)	4点	南京条約			○	39.7	
		1～3点					18.9	
(5)		日米修好通商条約と大政奉還	○		67.8	0.2		
5	(1)	近・現代史	明治時代の文化	○		82.2	0	
	(2)		民本主義		○	56.3	12.0	
	(3)		日中戦争から国際連合加盟までのことがら	○		25.8	0.2	
	(4)		地球温暖化防止への取り組み	○		88.3	0.1	
6	(1)	経済	独占禁止法		○	71.0	10.5	
	(2)		セーフティネット	○		51.0	0.2	
	(3)	X	各国の実質経済成長率の推移グラフの読み取り	○		88.9	0.3	
		Y		○		82.6	0.4	
7	(1)	政治	日本国憲法における社会権	○		83.5	0.4	
	(2)	4点	世論			○	46.5	
		1～3点					18.2	
		無答						8.5
(3)		住民投票		○	39.2	12.4		

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

### 3 数 学 (後 期)

#### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 多面的にものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力をみることができるようにした。
- ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力をみることができるようにした。
- エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力をみることができるようにした。

#### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=1,580

領 域 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点		正 答 率 (%)	
数 と 式	数 と 式 の 計 算	<b>1</b>	30点	84.7	69.5
	文 字 式 の 利 用	<b>5</b>	15点	51.2	
図 形	平 面 図 形	<b>2</b> の(3)(5)、 <b>4</b> の(2)	17点	40.6※	57.8※
	空 間 図 形	<b>2</b> の(2)	6点	69.6	
	図 形 の 証 明	<b>4</b> の(1)	10点	71.0※	
関 数	関 数 $y = ax^2$	<b>3</b>	10点	46.4	
資料の活用	中 央 値	<b>2</b> の(1)	6点	76.5	55.6
	確 率	<b>2</b> の(4)	6点	34.6	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

#### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は61.0点で、前年度と比べて1.0点低くなった。

領域別の正答率は、数と式が69.5%と最も高く、関数が46.4%と最も低かった。

また、次の表にあるように、数と式の領域では、大問**1**の(1)「正の数・負の数(減法)」の正答率が96.9%と最も高く、大問**5**の(3)③「式の活用(数の規則性)」の正答率が10.9%と最も低かった。

図形の領域では、大問**4**の(1)(b)「図形の証明(穴埋め)」の正答率が93.1%と最も高く、大問**4**の(2)「平面図形(三平方の定理・図形の相似の利用)」の正答率が2.4%と最も低かった。

関数の領域では、大問**3**の(1)「関数 $y = ax^2$ ・一次関数(関数の決定)」の正答率が77.6%と最も高く、大問**3**の(3)「 $y$ 軸上の点の座標」の正答率が12.3%と最も低かった。

資料の活用の領域では、大問**2**の(1)「資料の散らばりと代表値(中央値)」の正答率が76.5%、大問**2**の(4)「確率」の正答率が34.6%であった。

無答率が高かったのは、大問**5**の(3)③「式の活用(数の規則性)」、大問**3**の(3)「 $y$ 軸上の点の座標」及び大問**4**の(2)「平面図形(三平方の定理・図形の相似の利用)」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選択	短答	記述			
1	(1)	数と式	正の数・負の数(減法)		○	96.9	0	
	(2)		正の数・負の数(四則計算：累乗を含む)		○	90.3	0.7	
	(3)		文字式の計算(分配法則)		○	77.4	1.6	
	(4)		連立二元一次方程式		○	85.6	3.4	
	(5)		平方根(根号を含む式の計算)		○	74.2	3.4	
	(6)		因数分解		○	83.9	3.2	
2	(1)	資料	資料の散らばりと代表値(中央値)		○	76.5	0.6	
	(2)	図形	空間図形(回転体の体積)		○	69.6	5.7	
	(3)		多角形の内角		○	80.6	2.1	
	(4)	資料	確率		○	34.6	10.0	
	(5)	図形	平面図形(作図)		○	6点	37.2	/
3点						3.2		
無答						21.9		
3	(1)	関数	関数 $y = ax^2$ ・一次関数(関数の決定)		○	77.6	4.6	
	(2)		2点間の距離		○	49.4	15.2	
	(3)		y軸上の点の座標		○	12.3	54.7	
4	(1)	図形	図形の証明(穴埋め)		○	91.9	0.8	
			図形の証明(穴埋め)		○	93.1	1.0	
			6点	図形の証明(三角形の合同)		○	24.7	/
							3点	
	無答	43.4						
(2)	平面図形(三平方の定理・図形の相似の利用)		○	2.4	51.5			
5	(1)	数と式	式の活用(数の規則性)		○	86.3	4.0	
	(2)		式の活用(数の規則性)		○	62.3	9.6	
	(3)		①	式の活用(数の規則性)		○	66.1	18.5
			②	式の活用(数の規則性)		○	30.4	32.6
			③	式の活用(数の規則性)		○	10.9	65.7

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

## 4 理 科 (後 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能並びに科学的な見方や考え方を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果などを表現する力をみることができるようにした。
- エ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力をみることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=1,580

分 野 ・ 内 容			問 題 ・ 配 点	正 答 率 (%)	
第1分野	物 理	運動の規則性	4 13点	59.4	55.6※
		電流と磁界	7 12点	50.6※	
	化 学	水溶液とイオン	3 13点	77.8※	66.0※
		状態変化と物の溶け方	6 12点	54.2	
第2分野	生 物	生物の観察	2 12点	68.1	65.4※
		動物の体のつくりと働き	8 13点	62.7※	
	地 学	地層の重なりと過去の様子	1 13点	64.5	57.7
		天体の動きと地球の自転・公転	5 12点	50.9	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は61.6点で、前年度と比べて5.9点低くなった。

分野・内容別の正答率は、第1分野・化学の大問**3**「水溶液とイオン」が77.8%と最も高かった。逆に、第1分野・物理の大問**7**「電流と磁界」が50.6%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かった問題は、大問**5**の(1)「太陽の一日の動き」、大問**3**の(3)「電解質」及び大問**6**の(2)「蒸留」であった。逆に、正答率が低かった問題は、大問**4**の(2)「斜面上を運動する小球にはたらく力」、大問**6**の(1)「エタノールをとり出す際の装置」及び大問**8**の(2)「刺激を受けとってから反応が起こるまでの平均の時間」であった。

無答率が高かったのは、大問**6**の(4)「質量パーセント濃度」、大問**7**の(2)「コイルが大きく動いた理由」及び大問**6**の(3)「エタノールの特徴」であった。

問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容	問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)		
		選択	短答	記述				
1	(1)	風化		○		75.1	5.1	
	(2)	石灰岩	○			66.4	0.1	
	(3)	断層による地層のずれと地層にはたらいた力の向き	○			79.4	0.1	
	(4)	地層の対比		○		37.2	2.2	
2	(1)	ミカヅキモと同じ単細胞生物	○			48.6	0	
	(2)	採集の方法	○			64.3	0.1	
	(3)	高倍率の対物レンズにかえたときの変化	○			81.3	0.2	
	(4)	無性生殖		○		78.0	2.0	
3	(1)	4点		○		88.8		
		H <sup>+</sup> のみ正答				5.5		
		Cl <sup>-</sup> のみ正答				5.9		
		無答					2.1	
	(2)	うすい塩酸中での亜鉛板と銅板の変化	○			54.8	0.2	
	(3)	電解質		○		89.7	2.5	
	(4)	化学変化によって電気エネルギーをとり出している例	○			72.2	0.5	
4	(1)	小球の平均の速さ		○		63.5	3.9	
	(2)	斜面上を運動する小球にはたらく力	○			19.2	0.1	
	(3)	小球の運動エネルギーのグラフ	○			83.4	0.3	
	(4)	力学的エネルギーの保存		○		71.5	1.8	
5	(1)	太陽の一日の動き	○			97.9	0	
	(2)	日の出の時刻	○			45.6	0.4	
	(3)	地軸の傾き	○			32.1	0.1	
	(4)	赤道における太陽の通り道	○			27.9	0.1	
6	(1)	エタノールをとり出す際の装置	○			21.6	0.5	
	(2)	蒸留	○			89.7	0.4	
	(3)	エタノールの特徴			○	76.5	5.8	
	(4)	質量パーセント濃度		○		28.8	13.9	
7	(1)	電流が流れているコイルの周りにできる磁界の向き	○			63.9	1.0	
	(2)	4点			○	39.3		
		1~3点				8.3		
		無答					13.7	
(3)	電流が流れている金属が磁界から受ける力の向き	○			44.3	1.7		
8	(1)	(a)	光の刺激を受けるとる感覚器官	○			78.7	0.3
		(b)	神経系の名称	○			84.6	0.3
	(2)	刺激を受けとってから反応が起こるまでの平均の時間	○			27.6	1.6	
	(3)	4点	反射の特徴			○	58.5	
		1~3点					2.7	
無答							5.3	

※ 無答率の「0. 0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。



## 5 英 語 (後 期)

### (1) 出 題 方 針

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能を、全領域にわたり身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などをみることができるようにした。また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に発話する力をみることができるようにした。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、文章の概要や要点を把握する力、筆者の意図や考え、文脈などを把握する力、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力をみることができるようにした。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語を書く力とともに、条件作文の中で、英語を用いて自分の考えなどをまとめ、表現する力をみることができるようにした。

### (2) 正 答 率 の 概 況

抽出答案数=1,580

領 域 ・ 内 容		問題・配点	正答率 (%)	
聞くこと (話すこと)	リスニングテスト (絵を見て答える、対話やまとまりのある文章を聞いて答える)	1 20点	70.7	73.7
	リスニングテスト (対話を聞いて空所にあてはまる数字や語を答える)	2 8点	81.1	
読むこと (話すこと)	短い文章の読解	5 16点	49.3	55.4※
	長い文章の読解	6 20点	44.8※	
	対話文の流れの理解	7 16点	74.7	
書くこと (話すこと)	文法及び文構造	3 12点	66.5	60.0※
	英語による自己表現 (ある意見に対する賛否とその理由を記述する)	4 8点	40.5※	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

### (3) 結 果 の 説 明

全体の平均点は61.9点で、前年度と比べて12.2点高くなった。

領域・内容別の正答率は、聞くこと (話すこと) の「リスニングテスト (対話を聞いて空所にあてはまる数字や語を答える)」が81.1%と最も高かった。逆に、書くこと (話すこと) の「英語による自己表現 (ある意見に対する賛否とその理由を記述する)」が40.5%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問2の①「対話を聞いて空所にあてはまる数字を答える」、大問1のNo.2「対話を聞いて絵を選ぶ」及び大問7の(1)「文脈に合わせて英語を選ぶ」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問4「英語による自己表現 (ある意見に対する賛否とその理由を記述する)」、大問6の(5)「内容と合うよう英語を補充する」及び大問5の(1)①「内容と合うよう英語を補充する」であった。

無答率が高かったのは、大問6の(5)「内容と合うよう英語を補充する」、大問6の(2)「英語の質問に英語で答える」及び大問4「英語による自己表現 (ある意見に対する賛否とその理由を記述する)」であった。

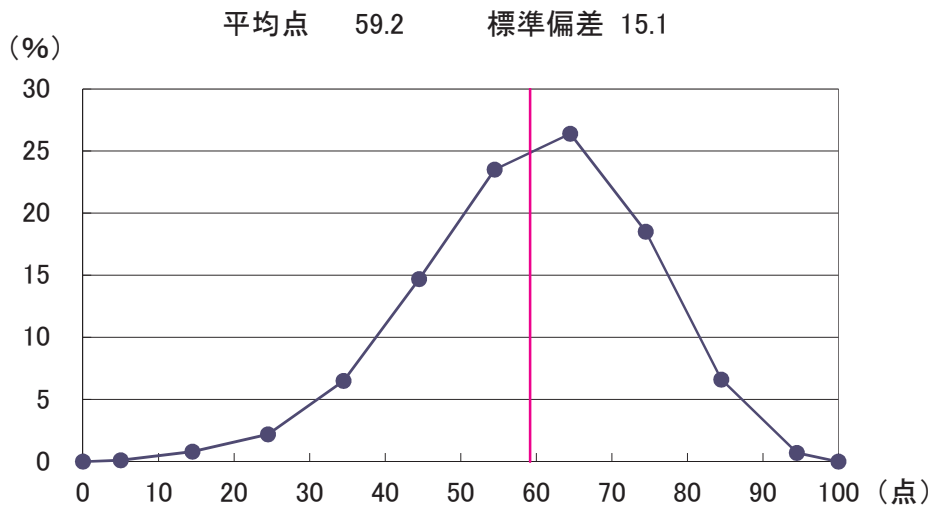
問題の内容及び正答率・無答率

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)		
			選択	短答	記述				
1	No. 1	リスニング	対話を聞いて絵の中の記号を選ぶ		○		73.7	0.1	
	No. 2		対話を聞いて絵を選ぶ		○		88.8	0	
	No. 3		対話を聞いて英語を選ぶ		○		51.0	0.1	
	No. 4		文章を聞いて英語を選ぶ		○		79.7	0	
	No. 5		文章を聞いて時間を選ぶ		○		60.3	0.1	
2	①		対話を聞いて空所にあてはまる数字を答える( 4163 )			○	89.2	0.8	
	②		対話を聞いて空所にあてはまる語を答える( Terentius )			○	73.0	1.5	
3	(1)	文法・文構造	語順整序 ( This shop sells many kinds of comic books. )		○		56.5	0.1	
	(2)		語順整序 ( Why don't you have dinner with us this evening? )		○		68.3	0.1	
	(3)		語順整序 ( I was so busy that I couldn't visit my grandmother. )		○		74.8	0.3	
4	8点	自己表現	英語による自己表現(ある意見に対する賛否とその理由を記述する) (解答例) A ( I think so, too. ) B ( Winning is everything to me. I practice hard every day to be a great player. )			○	12.3		
	5～7点						27.8		
	1～4点						23.5		
	無答							13.2	
5	(1)	短文読解	内容と合うよう英語を補充する			○	24.2	5.9	
			内容と合う英語を選ぶ		○		38.4	0.8	
	(2)		文脈に合わせて英語を選ぶ		○		65.0	0.2	
			文脈に合わせて英語を選ぶ		○		69.4	0.5	
6	(1)	長文読解	内容と合うグラフを選ぶ		○		32.7	1.1	
	(2)		4点	英語の質問に英語で答える			○	31.3	
			1点～3点					20.4	
			無答						21.2
	(3)		内容と合うよう英文を挿入する場所を選ぶ		○		62.2	1.8	
	(4)		内容と合う英語を選ぶ		○		65.1	2.9	
(5)	内容と合うよう英語を補充する			○	22.5	27.8			
7	(1)	対話文読解	文脈に合わせて英語を選ぶ		○		84.6	0.9	
	(2)		文脈に合わせて英語を選ぶ		○		81.5	1.5	
	(3)		文脈に合わせて英語を選ぶ		○		65.3	2.5	
	(4)		文脈に合わせて英語を選ぶ		○		67.5	3.0	

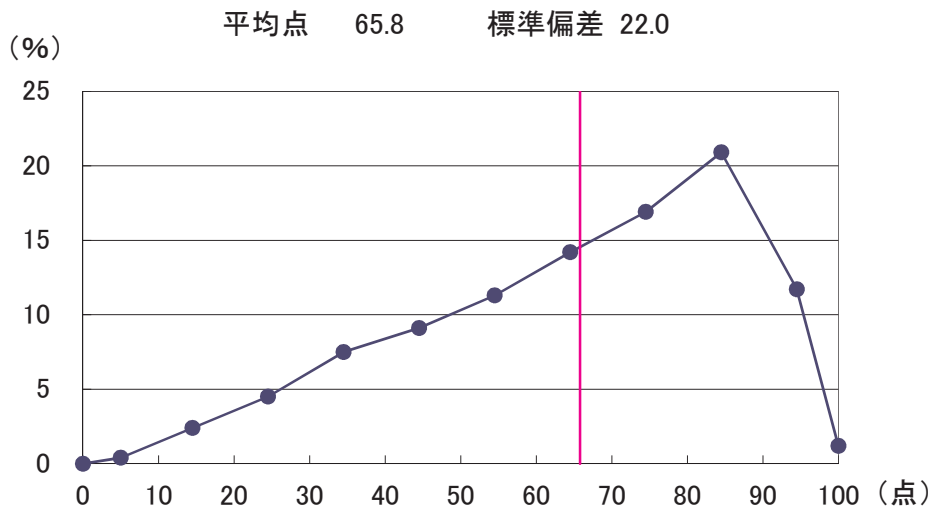
※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

## V 【後期選抜】受検者の得点分布

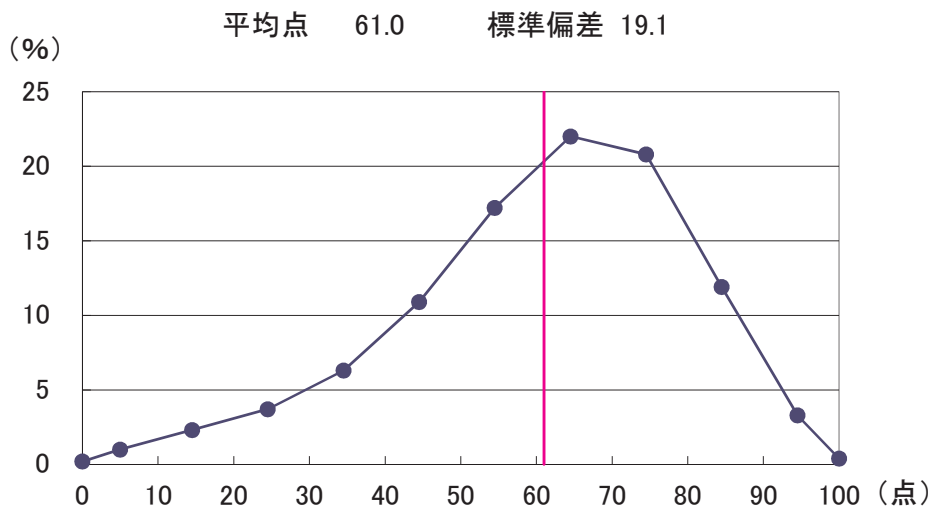
### 1 国語



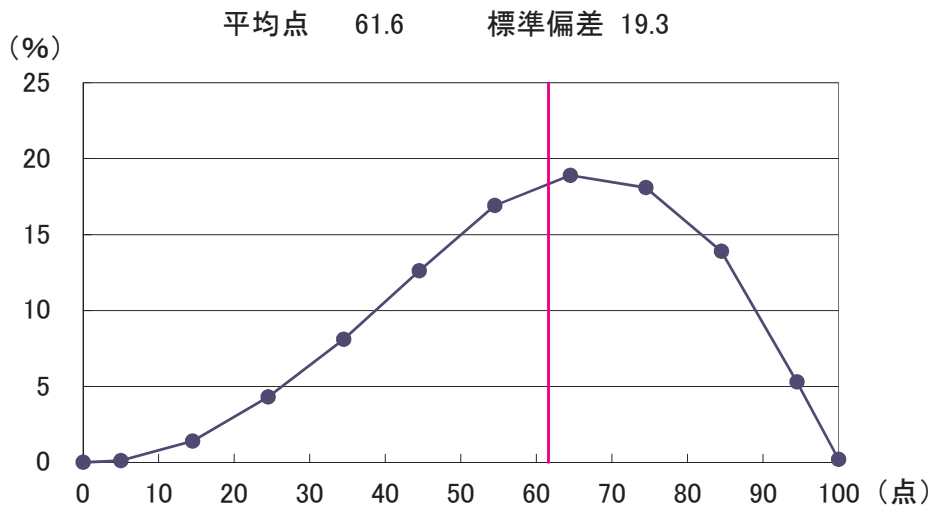
### 2 社会



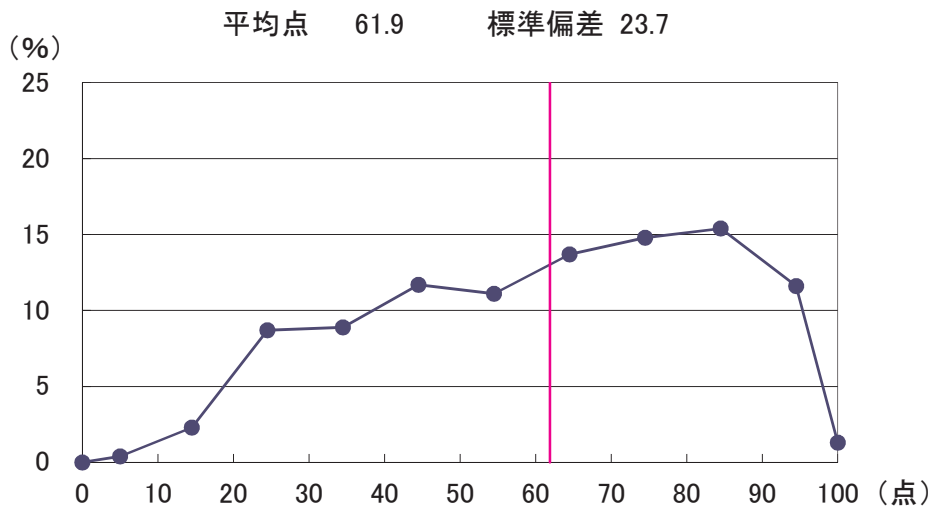
### 3 数学



#### 4 理科



#### 5 英語



#### 6 5教科得点合計

